

江別市 予算案



基本方針

平成29年度は、「えべつ未来づくりビジョン」の4年次目となります。
江別市は、「えべつ未来づくりビジョン」に掲げた「4つのまちづくりの基本理念」と、基本理念の根幹となる「協働のまちづくり」の考え方を踏まえてまちづくりを進めます。

基本理念

安心して暮らせるまち

活力のあるまち

協働のまちづくり

子育て応援のまち

環境にやさしいまち

予算編成のポイント

平成29年度予算編成では、この基本理念に基づいてまちづくりを進める「まちづくり政策」を推進するため、重点的・集中的に取り組む「えべつ未来戦略」を、政策の中枢に据えて取り組みを推進します。

また、人口減少と地域経済縮小の克服、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立のため、「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を効果的に進めていきます。

安心して暮らせるまち

- 健康都市宣言普及啓発事業
- 市民後見推進事業
- 空家等対策計画策定事業
- 住宅取得支援事業
- 公共交通利用促進対策事業
- 江別の顔づくり事業
- 新栄団地建替事業

活力のあるまち

- 都市と農村の交流センター管理運営事業
- 「食」と「農」の豊かさ発見実践事業
- 経済活動広報事業
- 食を軸とした地場産品販路拡大支援事業
- 観光振興計画策定事業
- 働きたい女性のための就職支援事業
- 企業立地等補助金

子育て応援のまち

- 子育て情報電子配信事業
- コミュニティ・スクール事業
- 保育料の独自削減
- 待機児童解消対策事業
- 民間社会福祉施設整備費補助事業
- 乳幼児等医療費
- 教育扶助費（小・中学校）

環境にやさしいまち

- 自治会防犯灯設置費補助金（LED化）
- 花のある街並みづくり事業
- 地域緑化事業
- 環境教育等推進事業
- 生ごみ減量化推進事業



予算規模（各会計予算額）

（単位：千円）

	平成28年度	平成29年度	増減	率
一般会計	46,450,000	43,950,000	△2,500,000	△5.4%
特別会計	26,107,000	26,802,000	695,000	2.7%
企業会計	18,566,606	18,414,768	△151,838	△0.8%
全会計	91,123,606	89,166,768	△1,956,838	△2.1%

一般会計は439億5千万円で、前年から25億円（5.4%）減少しました。これは、江別小・第三小統合校の建設や、臨時福祉給付金の減などによるものです。

全会計合計では、891億6,676万8千円となり、前年度から19億5,683万8千円（2.1%）減少しました。

きれいな空気、清らかな水、豊かな緑に恵まれた美しく住みよいうえべつをめざします

花のある街並みづくり事業

3,530 千円

美しい街並みを創出するため、花壇づくりに積極的に取り組む自治会等へ、市民憲章推進協議会を通じて、花苗・資材代や管理活動に対する活動協力金を助成します。

- ◆ 花苗助成事業補助金
- ◆ 活動協力金補助金



花のある街並みづくり

古着・古布及び小型家電

資源化事業 1,896 千円

ごみの減量化、資源化推進のため、古着・古布及び小型家電の拠点回収を実施します。また、市民のごみの減量化、資源化に対する意識を高めます。

- ◆ 古着・古布及び使用済み小型家電の拠点回収



生ごみ減量化推進事業

415 千円

家庭からの生ごみ排出量を減らすための取組を進めます。

- ◆ 生ごみ堆肥化容器購入助成
- ◆ 生ごみ水切りの啓発
- ◆ 食材使い切りレシピ講習会
- ◆ **拡大** 冷蔵庫の整理収納講習会



水辺の自然塾

環境教育等推進事業

4,025 千円

環境講座等を通して、環境保全への意識啓発をしていきます。

- ◆ えべつ環境広場の開催
- ◆ 子ども向け教育
小学校向け出前授業、ごみ減量体験講座
出前環境学校、夏休み環境学校
- ◆ 市民環境講座

地域緑化事業

1,946 千円

市民との協働により地域緑化を推進し、みどり豊かな江別をつくります。

- ◆ 市民植樹の実施
- ◆ 樹木の病虫害防除
- ◆ 自治会・学校等への苗木提供
- ◆ 石狩川300万本植樹への参加



市民植樹

その他主要事業（政策01）

■ 保存樹木等指定事業	707千円
■ 環境負荷軽減推進事業	4,910千円
■ 太陽光発電啓発事業	556千円
■ 環境マネジメントシステム事業	882千円
■ ごみ処理手数料等管理経費	78,974千円
■ ごみ収集運搬業務委託	383,660千円

■ 環境クリーンセンター等 長期包括的運営管理委託事業	976,870千円
■ リサイクルセンター管理運営事業	59,995千円
■ 分別・資源化等啓発事業	7,172千円
■ 資源回収奨励事業	43,424千円
■ 街路樹維持管理事業	16,700千円

地域特性を活かした産業が躍動するえべつをめざします

新規 都市と農村の交流センター
管理運営事業 21,800 千円

平成29年4月にオープンする都市と農村の交流センターの管理運営経費

- ◆ 所在地 : 江別市美原1445番地
- ◆ 施設概要 : 鉄骨造平屋建て(2,013㎡)
研修室、調理実習室、テストキッチン、
体育室、野球場、多目的広場、子育て支
援スペースなど



都市と農村の交流センター 完成予定図



都市と農村交流事業 ハスツアー (収穫体験)

都市と農村交流事業 1,800 千円

江別産農畜産物の地産地消や、生産者と消費者との交流を支援します。また、市内だけでなく近隣にも江別の農畜産物のファンが拡大することを目指し、積極的にPRします。

- ◆ 直売所マップの作成、スタンプラリーの実施
- ◆ 収穫体験ツアーの実施
- ◆ 「えべつかあさんブランド」認証シールの作成
- ◆ 農畜産物加工新商品開発等支援

6次産業化支援事業 2,929 千円

都市と農村の交流センター内に設置されるテストキッチンの操作指導等により、生産者の6次産業化を支援します。

- ◆ 地域おこし協力隊による6次産業化支援



農産物加工品



小麦「きたほなみ」

江別産農畜産物
ブランディング事業 1,617 千円

江別の小麦・黒毛和牛など地域ブランドの維持・拡大や安定供給に取り組みます。

- ◆ 黒毛和牛育成支援
- ◆ 小麦品種「きたほなみ」の作付を確保するための助成



「食」と「農」の
豊かさ発見実践事業 3,566 千円

食育推進計画に基づき、「食」と「農」への理解を深めるため、小・中学生を対象とした食育事業を実施します。

- ◆ 小学生：農業体験学習等
(一部の体験メニューを委託化)
- ◆ 中学生：市内生産者等を招いた授業
地場産食材を使ったレシピコンテスト



小学校の農業体験学習

総合特区推進事業

12,531 千円

北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区（フード特区）を北海道や札幌市等と連携して推進し、食品の付加価値を高める研究・産業都市への発展を図ります。

- ◆ 食の臨床試験活用企業への機能性食品開発支援
- ◆ 企業の海外市場開拓に対する支援
- ◆ フード特区の取組のPR活動

企業立地等補助金

88,572 千円

江別市に工場等を新築・増築した企業に対して、条例に基づき補助金を交付します。立地補助、雇用補助、下水道使用料補助、設備更新補助の4つの種類があります。

- ◆ 新規補助対象（3社）



企業誘致推進事業

1,516 千円

札幌市に隣接した立地環境、高速道路や鉄道等で札幌や空港・港湾に直結する交通、フード特区の指定、さらには研究機関や4つの大学が市内に集積するなど、江別市の優位性を活かした積極的な企業誘致を推進します。

- ◆ 企業誘致パンフレット作成
- ◆ 企業誘致活動経費（旅費等）



上空から見たRTNパーク



江別経済ネットワーク例会

江別経済ネットワーク事業

223 千円

大学・研究機関・企業などが参加する江別経済ネットワークの活動を支援します。また、江別経済ネットワークでの製品開発の取組をPRします。

- ◆ 江別経済ネットワーク活動支援
- ◆ 製品開発の取組PR

経済活動広報事業

4,230 千円

市内企業による商品開発、人材育成等の取組を紹介する記事をフリーペーパーや広報えべつに掲載します。

- ◆ **新規** 江別の産業・観光・教育・住環境などを紹介する冊子の発行
- ◆ PR記事作成・掲載委託（年3回、フリーペーパーへ掲載予定）
- ◆ 広報えべつを活用した市内企業紹介（年4回）

起業化促進支援事業

3,276 千円

市内で起業や事業拡大を目指す方に対し、起業化促進支援相談員によるアドバイスや、セミナー開催などの支援を行います。

- ◆ 起業化促進支援相談員による相談の実施
- ◆ 実践創業塾等の開催



野幌駅周辺地区

商店街活性化促進事業

6,454 千円

江別の顔づくり事業（街路事業）に伴う野幌商店街の再編整備促進のため、商店街の要請により出店したテナント等の出店経費を助成します。

- ◆ テナント改装費補助
- ◆ テナント家賃補助
- ◆ 商店街再編整備コーディネーター配置委託

商店街参入促進事業

500 千円

学生、地域住民、高齢者によるコミュニティ活動や趣味や特技を活かした事業活動など、商店街への参入を促進するため、各種支援制度や成功事例等を紹介するセミナーの開催、参入希望者へのサポート事業を行います。

- ◆ セミナー開催
- ◆ サポート事業

働きたい女性のための
就職支援事業 21,048 千円

働きたい女性と、女性の労働力を求める企業をつなぎ、女性の社会参加向上と企業の雇用拡大を図ります。

- ◆ 有給研修・市内企業における実習
- ◆ 就労相談窓口の設置（週1回）
- ◆ 女性向け就職支援セミナー・イベントの開催



女性の就職支援 ビジネスマナー研修



大学生有給インターンシップ 研修

有給インターンシップ等
地域就職支援事業 13,056 千円

市内企業による大学生有給インターンシップ受入れを支援します。大学生は市内企業で継続してインターンシップを行い、受け入れ企業は従事中の賃金を支払います。

- ◆ 有給インターンシップ事業の実施
- ◆ インターンシップ事前研修
- ◆ 研修拠点の運営

(参考) 政策08
市内大学等インターンシップ事業 413 千円

市内大学と連携し、学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政の理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等で活躍できる人材を育成します。

- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ（3か月間（実働30日）、10名程度）



市内大学等インターンシップ事業 実習報告会



高校生 就職面接指導

高校生就職支援事業 2,500 千円

市内高校の生徒に対して、将来の就職に向けた研修やインターンシップ支援、企業交流会を実施します。

- ◆ インターンシップ参加者への事前研修
- ◆ 面接指導・研修
- ◆ 企業交流会



商工業活性化事業 4,660 千円

地域経済の活性化のため、新商品の開発や地域イベントの開催等を支援します。

また、商店街の景観向上のため、店舗外装等のレンガ装飾への助成を行います。

- ◆ 商工業活性化事業補助金
- ◆ 「イベント事業」「地域資源による製品等開発事業」他
- ◆ 建築協定推進事業



新規 観光振興計画策定事業

14,000 千円

観光による交流人口の創出と地域経済の活性化を図るため、観光振興計画を策定します。

- ◆ 観光振興計画の策定
- ◆ 観光商品等の開発に向けた検討会議の開催
- ◆ 観光人材育成事業



北海道産品試食相談会

地域発見魅力発信事業

6,524 千円

江別市の観光ルートの紹介や周遊型イベントの実施などを通じて、江別市の魅力を効果的に発信し、観光客の誘致を図ります。

- ◆ **新規** 英語版観光パンフレットの作成
- ◆ ノハナショウブ群生地 の保存活用
- ◆ リアル謎解きゲーム開催による周遊促進
- ◆ 地域おこし協力隊による観光事業支援

食を軸とした
地場産品販路拡大支援事業

553 千円

食を中心とした江別産品の掘り起こしと高付加価値化を図り、地場産品の販路拡大を推進します。

- ◆ 札幌地下歩行空間等でのマーケティングテスト販売
- ◆ 北海道産品取引商談会の出展支援
- ◆ 江別産品試食評価相談会の開催
- ◆ 美味しい江別フェア(東京都内で実施予定)の開催支援

江別観光協会補助金

2,940 千円

江別観光協会が取り組む江別市の観光プロモーション活動を支援し、観光客の増加を図ります。

- ◆ 観光パンフレット、観光名刺の作成費補助
- ◆ 観光ボランティアガイド事業の補助
- ◆ イベント等でのPR経費への補助



市内観光パンフレット 「えべつCollection」

江別アンテナショップ
GET'S管理運営事業

8,650 千円

旧ヒダ工場（E B R I）内アンテナショップの管理運営を通して、江別の観光・物産の魅力発信と周遊促進を図ります。

- ◆ アンテナショップ管理運営委託
- ◆ 市内大学生と連携した壁面黒板チョコレートの実施



江別アンテナショップGET'S

その他主要事業（政策02）

■都市と農村の交流センター建設事業	76,200千円
■地域農業経営安定推進事業	90,959千円
■農業振興資金貸付事業	28,056千円
■次世代就農定着サポート事業	13,500千円
■花き・野菜栽培技術指導センター管理運営事業	9,970千円
■日本型直接支払交付金	189,134千円

■道営農業農村整備事業負担金	18,025千円
■勤労者生活資金貸付事業	3,500千円
■シルバー人材センター事業補助金	23,541千円
■中小企業資金融資事業	1,168,758千円
■江別駅前再開発事業	118,889千円
■江別商工会議所補助金	8,575千円
■工業団地環境整備事業	25,000千円

だれもが健康的に安心して暮らせるえべつをめざします

新規 健康都市宣言普及啓発事業 2,343 千円

全ての市民が生涯を通じて健康に過ごせるように、「健康都市宣言」の普及啓発を行い、健康意識の向上と健康づくりを推進します。

- ◆ 健康都市宣言の普及啓発
- ◆ 健康都市宣言記念イベントの開催



こころの健康づくり講演会



健康づくり推進員事業「ノルディックウォーキング」

健康づくり推進事業 4,084 千円

第2次えべつ市民健康づくりプラン21に基づき、市民の健康の保持・増進を目指した生活習慣の実践や、地域の健康づくり活動を推進します。

- ◆ 健康づくり推進員の活動支援
- ◆ こころの健康づくり
- ◆ 出前講座



成人検診推進事業 (がん検診受診促進経費) 11,870 千円

がんの早期発見、早期治療による重症化の予防のため、がん検診の受診勧奨や、乳がん・子宮頸がんの無料クーポン券を配布します。

- ◆ 検診の受診勧奨
- ◆ 無料クーポン券の配布
- ◆ 自己採取HPV検査キットの送付



江別市保健センター



E-リズム推進事業 936 千円

市民の生活習慣病の予防や健康の保持増進を目的に、江別版リズムエクササイズ「E-リズム」の普及啓発を行います。

- ◆ 「E-リズム」の普及啓発
- ◆ 出前講座



江別版リズムエクササイズ「E-リズム」



「E-リズム ゆっくりバージョン」

高齢者等社会参加
促進バス助成事業 3,511 千円

高齢者や障がい者等の生きがいつくりや社会参加等を目的とした活動に対し、団体で借り上げるバスの費用の一部を助成します。

- ◆ 市内の福祉関係団体等に対するバス借上費用の一部助成



障害者就労相談支援事業 9,159 千円

障がい者の就労に関する相談、企業の障がい者雇用に関する相談窓口を設置し、障がい者の社会的自立を促進します。

- ◆ 障がい者や企業からの総合相談、障害福祉サービスとのマッチング
- ◆ 就労者への職場巡回、来所相談等による定着支援

市民後見推進事業 8,704 千円

成年後見制度の普及や市民後見人の活動の体制を整備するため、相談機関の設置や人材育成に取り組みます。

- ◆ **新規** 後見実施機関の設置・運営
- ◆ 市民後見人フォローアップ研修

生活困窮者自立支援事業 30,335 千円

生活保護制度の対象とならない生活困窮者の方に対する相談業務を行います。また、離職により住宅を喪失した方への支援も行います。

- ◆ 自立に向けた相談・情報提供・支援
- ◆ 家計相談・就労準備支援
(江別市総合社会福祉センター内他)
- ◆ 住居確保給付金の支給



江別市総合社会福祉センター（錦町14-87）

その他主要事業（政策03）

■ 社会福祉協議会補助金	94,982千円
■ 夜間急病センター運営経費	131,011千円
■ 高齢者予防接種経費	65,525千円
■ 成人検診推進事業 (結核予防・がん検診経費)	68,910千円
■ 障害者自立支援給付費	2,640,579千円
■ 障害者自立支援給付費（児童）	543,048千円
■ 自立支援医療給付費	224,357千円
■ 重度心身障害者医療費	240,147千円

■ 福祉除雪サービス事業	18,154千円
■ 介護サービス提供基盤等整備事業	43,178千円
■ 地域介護・福祉空間整備等事業	13,182千円
■ 老人ホーム施設入所委託費	93,141千円
■ 生活扶助自立助長支援事業	2,639,777千円
■ 国民健康保険会計繰出金	1,029,829千円
■ 病院事業会計繰出金	1,394,790千円
■ 介護保険会計繰出金	1,325,020千円
■ 後期高齢者医療会計繰出金	362,194千円

だれもが安全で安心して暮らせるえべつをめざします

地域防災力向上支援事業

4,174 千円

市民への出前講座や防災訓練の実施により、「自助・共助」等の防災意識の啓発を図り、地域防災力の向上を推進します。

- ◆ 防災訓練（総合防災訓練、避難所運営訓練）
- ◆ 防災研修・出前講座
- ◆ 避難所マップの全戸配布



総合防災訓練（江陽中学校）



防災備蓄庫（よつば保育園）

災害対応物品整備事業

7,186 千円

災害発生時に必要な物資・資機材について、過去の災害等を考慮して計画的に整備していきます。

- ◆ 毛布、食糧
- ◆ 発電機、投光器、間仕切り用段ボール

新規 業務継続計画推進事業

900 千円

本庁舎被災時に災害対策本部を移設するために必要な消防本部庁舎の施設改修を行います。

- ◆ 電話配線工事
- ◆ LAN配線工事等



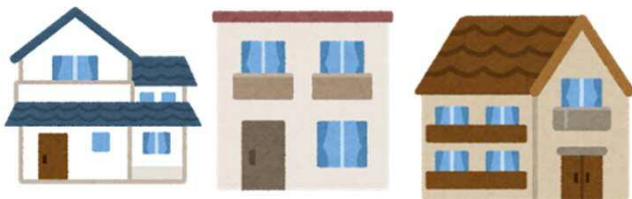
江別市自主防災組織研修会

新規 空家等対策計画策定事業

5,540 千円

空家の流通・活用の促進や適切に管理されていない空家等の解消により、安全で安心な住環境を確保します。

- ◆ 空家等対策計画の策定
- ◆ 空家等対策協議会の開催



自治会防犯灯設置費補助金

11,057 千円

各自治会等が設置する生活道路の防犯灯について、環境負荷の低減・省エネ化のためにLED灯への更新を推進します。

また、LED灯への更新にかかる自治会等の費用負担を軽減するため、LED防犯灯普及奨励金を交付します。

- ◆ 防犯灯設置費補助金（450灯予定）
- ◆ LED防犯灯普及奨励金（569灯予定）



LED自治会防犯灯

消防車両整備事業

76,000 千円

災害発生時に安全かつ迅速に対応できる体制を維持するため、消防車両を計画的に整備していきます。

- ◆ 指揮車、救急自動車、消防ポンプ自動車の更新



現在の救急自動車



救命講習

応急手当普及啓発事業

482 千円

日常生活の中で、けが人や病人に遭遇した時に適切に応急手当や心肺蘇生法などを行うことができるように、講習会を実施する。

- ◆ 普通救命講習Ⅰ 年7回
- ◆ 普通救命講習Ⅱ 年2回
- ◆ 普通救命講習Ⅲ 開催回数を年2回に拡大
- ◆ 上級救命講習 年1回

交通安全教育・啓発事業

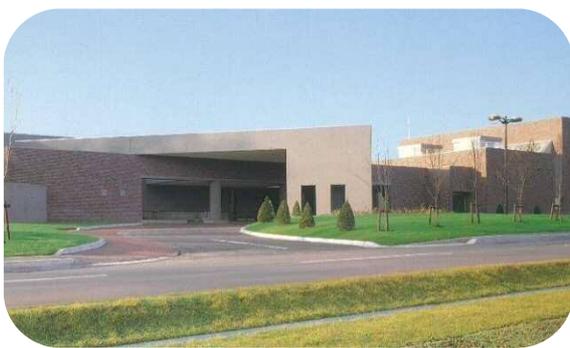
9,257 千円

交通事故防止のため、交通安全教室の開催や通学路街頭指導の実施など交通安全に係る啓発を行います。

- ◆ 交通安全教室の実施
- ◆ 通学路街頭指導の実施



交通安全教室



江別市 葬斎場

葬斎場施設整備事業

50,682 千円

葬斎場の安定運営を行うため、整備計画に基づく設備の更新、改修を実施します。

- ◆ 霊台車改修
- ◆ 火葬炉設備更新（5号炉ほか）
- ◆ 動物収灰設備更新
- ◆ 全炉関連付帯設備更新

その他主要事業（政策04）

■環境衛生対策促進事業 （市営墓地維持管理）	9,602千円
■やすらぎ苑整備事業	1,984千円
■江別河川防災ステーション管理経費	21,779千円
■排水機場維持管理事業	63,366千円
■河川等維持事業	9,837千円

■公共街路灯新設更新等事業	42,840千円
■消防庁舎・出張所維持管理費	32,177千円
■消防緊急情報システム管理経費	26,223千円
■消防車両維持管理費	13,276千円
■火災予防推進事業	1,639千円
■消防団運営費	30,805千円

暮らしやすさを実感できるえべつに向けて都市基盤の形成をめざします

江別の顔づくり事業

1,244,102 千円

街路・土地区画整理事業等により野幌駅周辺地区を整備し、安全で快適な都市生活の充実を図ります。

- ◆ 街路事業等
野幌駅南通整備・用地買収・物件補償ほか
- ◆ 商業等活性化事業
- ◆ 土地区画整理事業
野幌駅前南口広場整備、物件補償ほか



野幌駅前南口広場完成イメージ図



完成したB棟

新栄団地建替事業

818,072 千円

前年度に着工したC棟が完成予定です。また、D棟の実施設計を行います。

(全体計画 6棟290戸 平成22~35年度)

- ◆ C棟建設工事(48戸 平成28~29年度)
- ◆ D棟実施設計

市民参加による
公園づくり事業

43,476 千円

地域の子どもや自治会等とともに、住民に親しまれる公園を整備します。

- ◆ みづほ公園再整備工事(弥生町)
- ◆ 公園再整備のためのワークショップ



市民参加による公園ワークショップ



除排雪作業

除排雪事業
自治会排雪支援事業

1,127,090 千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除排雪を実施するとともに、自治会が行う生活道路の排雪を支援します。

- ◆ 除排雪の実施
- ◆ 自治会排雪の支援



車両整備事業

111,399 千円

冬期間における道路交通の安全確保のために除雪車を整備し、計画に沿って更新を行います。

- ◆ 大型ロータリ除雪車(1台)
- ◆ 歩道ロータリ除雪車(2台)の整備
- ◆ **拡大** 歩道ロータリ装着型排水ポンプ装置の整備



政策05 都市基盤

住宅取得支援事業

50,484 千円

多世代同居等による転出抑制、多子世帯への転入支援・転出抑制のため、住宅取得費、リフォーム費用の一部を助成します。

- ◆ 親と同居又は近居のための住宅取得費用助成
- ◆ 親と同居するためのリフォーム費用助成
- ◆ 多子世帯への住宅取得費用助成



野幌駅北口バス停

公共交通利用促進対策事業

12,927 千円

バスの利便性や交通機能の向上のため、地域公共交通活性化協議会において、駅を中心としたバス路線の再編に向けた検討、交通計画の策定を行います。

- ◆ バス路線再編の検討
- ◆ 地域公共交通網形成計画の策定
- ◆ 地域公共交通再編実施計画の策定



生活バス路線運行補助事業

30,000 千円

生活バス路線の維持・確保のため、市内赤字バス路線への補助を行います。

- ◆ 市内赤字バス路線への補助の拡充



大麻地区住環境活性化事業

6,163 千円

高齢者など多様な方々にとって住みやすい住環境が維持されるよう、大麻地区の活性化を図る取組を支援します。

- ◆ 地域おこし協力隊による大麻地区活性化支援



大麻地区 市街地



大麻地区 ラベンダーロード

その他主要事業（政策05）

■公園管理事業	192,010千円
■市営住宅環境改善整備事業	35,800千円
■弥生団地大規模改善事業	26,315千円
■市営住宅管理経費	46,887千円
■道路橋梁管理経費（臨時）	437,005千円
■道路施設再整備事業	175,450千円
■橋梁長寿命化事業	75,152千円

■道路橋梁再整備事業	55,300千円
■百間境道路整備事業	96,522千円
■高砂駅周辺整備事業	15,433千円
■車両維持管理経費	49,573千円
■水道事業会計繰出金	101,484千円
■下水道事業会計繰出金	1,137,563千円
■石狩東部広域水道企業団繰出金	68,888千円

未来のえべつを支える元気で情操豊かな子どもたちの育成をめざします

乳幼児等医療費

139,616 千円

乳幼児等医療費の一部を助成することにより、保護者の負担軽減を図ります。

- ◆ **拡大** 3歳以上の未就学児の通院医療費助成
本人1割負担 → 初診時一部負担金のみ
(平成29年8月診療分から)
- ◆ 入院医療費助成



よつば保育園 (平成28年11月開園)

保育料の独自軽減

「えべつ・安心子育てプラン (江別市子ども・子育て支援事業計画)」に基づき、子育て家庭への経済的負担を考慮し、引き続き保育料の軽減を図ります。

- ◆ 市の独自軽減率 25.37%



待機児童解消対策事業

249,189 千円

0~2歳までの待機児童の解消に向け、受け皿となる小規模保育施設等に対し、開設経費や人材確保、運営費補助などにより支援します。

- ◆ 保育従事者の養成
- ◆ 小規模・事業所内保育施設等への地域型保育給付
- ◆ **拡大** 施設改修補助 (2施設)

民間社会福祉施設整備費

補助事業 520,075 千円

民間事業所が行う認定こども園施設等の整備に対し、補助を行うことで、快適な保育環境の整備を促進します。

- ◆ **拡大** 認定こども園施設整備に対する補助 (2施設)
- ◆ **拡大** 防犯対策備品整備に対する補助 (5施設)
- ◆ 民間保育園の建設費償還金補助



保育園の地域清掃活動



新規 子育て情報電子配信事業

648 千円

スマートフォン無料アプリを活用して、子育てサービス情報を配信します。

- ◆ 子育て関連ニュース・イベント情報等の配信
- ◆ 母子手帳補完機能 (電子母子手帳)



あそびのひろば事業

2,988 千円

地域の子どもの遊びの場として、また、子育てに関する情報交換や交流の場として、民生委員・児童委員や子育てサポーター協力のもと、あそびのひろばを開催します。

- ◆ 出前型子育てひろばの開催



あそびのひろば「あさひ」

親子安心育成支援事業
(子育てひろば事業) 25,496 千円

商業施設内に開設した子育てひろば『ぼこ あ ぼこ』を運営します。季節や天候を問わない室内型で、大型遊具やクライミングウォールなどを備え、子どもが自由に遊べる空間を提供します。

- ◆ 子育てひろば『ぼこ あ ぼこ』
原則無休 9:30~17:30 利用料無料
0歳~小学校3年生まで(保護者同伴)
(図書コーナーは小学校6年生まで)



「ぼこ あ ぼこ」で遊ぶ親子



「ぼこ あ ぼこ」クライミングウォール



「ぼこ あ ぼこ」図書コーナー

病児・病後児保育事業 22,940 千円

病児・病後児保育を実施している医療機関に対し、運営費の一部を補助します。

- ◆ 病児・病後児保育実施機関への補助
- ◆ **拡大** 感染症流行情報等の発信
保育施設の巡回・情報共有に対する補助



放課後児童クラブ
施設整備事業 1,590 千円

市有施設に開設している放課後児童クラブの設備や備品を整備します。

- ◆ いずみ野小学校の余裕教室を利用した放課後児童クラブの開設

新規 コミュニティ・スクール事業 2,957 千円

地域と学校が一体となって子どもの教育や学校運営に関して話し合うなど、子どもを育てていく環境づくりを推進します。

- ◆ えべつ型コミュニティ・スクールの運営経費



小・中学校教育扶助費 189,831 千円

経済的理由により就学の援助が必要な世帯に対し、学用品費、給食費、修学旅行費、医療費などを支給します。

- ◆ **拡大** PTA会費、生徒会費を支給項目に追加

いじめ・不登校対策事業 5,903 千円

いじめ・不登校に悩む児童生徒の支援として、専用窓口を設置し電話・面談相談に対応します。

また、不登校児童生徒を対象とした学習支援や体験活動などを実施します。

- ◆ 専任指導員による電話・面談相談
- ◆ スクールカウンセラーによる教育相談

情報教育推進事業

29,746 千円

児童・生徒のICT教育を推進するため、パソコンやデジタル教科書などの情報機器を整備します。

- ◆ 教育用パソコン等ICT機器維持管理経費
- ◆ 教育用パソコンの更新（タブレットPC導入）
- ◆ **拡大** デジタル教科書の購入
算数・数学～小中学校への全学年整備
国語～全小中学校への段階的整備



情報機器を使った授業



退職教員による補充的学習

小中学校学習サポート事業

9,329 千円

退職教員などを活用し、複数の教員が指導するチームティーチングや、補充的学習を実施することで、子ども達の学力向上に取り組みます。

- ◆ 複数教員による指導（小・中学校）
- ◆ 夏季・冬季休業中の補充的学習（小・中学校）
- ◆ 放課後の補充的学習（中学校）

小中学校外国語教育支援事業

28,064 千円

より低学年から英語に慣れ、コミュニケーション能力の素地を養うため、英語を母国語とする外国語指導助手が、小学校全学年で外国語活動を行います。

また、中学校の英語の授業時に、外国語指導助手を派遣し、チームティーチングを行います。



外国語指導助手による授業



児童生徒体力向上事業 出前授業

児童生徒体力向上事業

679 千円

北翔大学の協力のもと、小学校低学年向けに基礎的な運動を継続的に行える「朝運動プログラム」を実施します。

- ◆ 朝運動プログラムの実施（文京台小）
- ◆ 出前授業の実施（3校予定）
- ◆ 走り方教室の実施



その他主要事業（政策06）

■ 児童扶養手当	491,402千円
■ 児童手当	1,552,690千円
■ 放課後児童クラブ運営費補助金	86,789千円
■ 保育園運営経費	122,922千円
■ 教育・保育施設給付事業	1,361,096千円
■ 江別小学校・江別第三小学校 統合校建設事業	135,587千円

■ 児童館地域交流推進事業	55,746千円
■ 予防接種経費	196,961千円
■ 幼稚園就園奨励費補助金	122,730千円
■ 私立幼稚園補助金（運営費補助金）	11,500千円
■ 特別支援教育推進事業	49,983千円
■ 特別支援学級生活介助事業	50,044千円
■ 学校給食事業	236,064千円

心の豊かさを実感できる成熟した生涯学習のまち・えべつの実現をめざします

市民文化ホール管理運営事業 50,988千円

文化・芸術活動の拠点として市民文化ホールの管理運営を行うほか、開館20周年を記念した公演を行います。

- ◆ 市民文化ホールの管理運営
- ◆ **新規** 20周年記念公演の実施 (平成30年3月予定)



市民文化ホール



江別市中学校・高校美術部合同展2016

セラミックアートセンター 企画展開催事業 483千円

「やきもののまち江別」のイメージを市民と共有し、優れた芸術文化に触れる機会を提供するため、企画展を開催します。

- ◆ 「江別市中学校・高校美術部合同展2017」 (平成29年11月～12月)
- ◆ 「えべつFUROSIKIフェスティバル2017」 (平成29年12月～平成30年2月)

体育施設整備更新事業 (体育施設耐震化) 105,000千円

平成26年度の耐震診断結果に基づき、大麻体育館の耐震化を進めるため、トレーニング室棟の耐震改修工事を行います。

- ◆ トレーニング室棟耐震改修工事



スポーツ合宿誘致推進事業 3,050千円

東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機として、トップアスリートとの交流などを通じた市内のスポーツ振興を図るため、合宿誘致を進めます。

- ◆ 合宿利用団体誘致 (道外からの利用団体への送迎サービス、野幌総合運動公園等利用料補助)



えべつ市民カレッジ (四大学等連携生涯学習講座) 事業 1,340千円

市内の4大学と市が協働で実施しているふるさと江別塾や大学自主公開講座等を「えべつ市民カレッジ」として総合的に情報を提供します。

- ◆ ふるさと江別塾開催
- ◆ えべつ市民カレッジの市民向けPR



ふるさと江別塾

その他主要事業 (政策07)

■ コミュニティセンター管理運営事業	16,537千円
■ 公民館管理運営事業	92,106千円
■ 図書館運営管理事業	72,775千円
■ 図書館設備等更新事業	14,477千円
■ 陶芸文化普及振興事業	7,651千円
■ 市民文化祭開催支援事業	2,400千円
■ 歴史的れんが建造物保存活用事業	10,945千円

■ 芸術鑑賞招へい事業	1,850千円
■ 子どもの文化活動育成事業 (土曜広場)	900千円
■ 屋内体育施設管理運営事業	176,996千円
■ スポーツ大会等振興補助事業	44,783千円
■ 体育施設整備更新事業	7,466千円
■ セラミックアートセンター管理運営事業	39,543千円

市民や各種団体など多様な主体が、協働でまちづくりに取り組むえべつをめざします

協働を知ってもらう啓発事業

714 千円

未来のまちづくりを担う子どもたちに協働の理念を知ってもらうため、パンフレットなどを作成し、小学4年生・中学2年生に配布します。
また、早朝出前ミニ講座も行います。

- ◆ 小学4年生へのクリアファイル配布
- ◆ 中学2年生へのパンフレット配布
- ◆ 出前講座（小学4年生、**拡大** 中学2年生）



協働を知ってもらうパンフレット



協働のまちづくり活動支援事業

市民協働推進事業

3,203 千円

市民協働によるまちづくりを推進するため、市民活動団体の活動を支援します。

- ◆ 協働のまちづくり活動支援事業（公募による市民活動団体の取組への補助）
- ◆ 市民活動団体の活性化促進
- ◆ 市民活動情報の発信

自治会活動等支援事業

129 千円

地域活動（自治会・市民活動など）が活性化することを目指し、地域の活動を担う人材育成を支援します。

- ◆ えべつ地域活動運営セミナーの実施
- ◆ **新規** 自治会の女性役員と自治会連絡協議会役員との意見交換会の実施



えべつ地域活動運営セミナー



男女の出会いの場づくり支援事業

男女の出会いの場づくり

支援事業

800 千円

結婚したい若い世代に出会いの場を提供するとともに、市の魅力をPRすることにより、定住人口・交流人口の増加を図ります。

- ◆ 独身男女の出会いを支援するイベント



新規 姉妹都市提携40周年記念事業

2,729 千円

グレシャム市との姉妹都市提携40周年を記念した事業を実施します。

- ◆ グレシャム市訪問
- ◆ グレシャム市訪問団の受入 歓迎レセプション等開催



姉妹都市提携30周年 グレシャム市訪問の様子

学生地域定着自治体連携事業

3,372 千円

道内8自治体の広域連携による協議会を運営し、市内大学に通う学生が行う地域活動や研究等について、受入先とのマッチングを行います。

- ◆ 学生地域定着推進広域連携協議会の運営
- ◆ 学生の地域活動等と受入先とのマッチング支援
- ◆ 市内における学生の地域活動への参加支援



EBRI チョークアート (学生地域定着自治体連携事業)

大学連携学生地域活動

支援事業

300 千円

市内4大学の学生によるまちづくりや地域活性化に資する活動に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携学生地域活動支援事業補助金 (上限10万円)

大学連携調査研究助成事業

3,039 千円

市内4大学の教員による江別の地域活性化や課題解決につながる研究事業に対し補助金を交付します。

- ◆ 江別市大学連携調査研究事業補助金 (上限100万円)
- ◆ 大学連携事業報告会の開催



大学版出前講座

大学版出前講座支援事業

35 千円

市内大学の研究機能を活かし、地域との協働のまちづくりを進めるため、地域でまちづくりを考える機会として、大学教員が地域へ出向いて実施する出前講座を支援します。

- ◆ 出前講座の登録
- ◆ 出前講座の周知・広報
- ◆ 出前講座の開催調整



市内大学等

インターンシップ事業

413 千円

市内大学と連携し、学生をインターンシップ実習生として受け入れることにより、職業意識の向上と市政の理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等で活躍できる人材を育成します。

- ◆ 市内大学の学生インターンシップ受入れ (3か月間(実働30日)、10名程度)



インターンシップ実習

その他主要事業 (政策08)

■自治基本条例啓発事業	275千円
■江別市民活動センター・あい施設管理費等補助金	1,880千円
■住区会館管理運営事業	50,997千円
■地域自治活動事業補助金	17,485千円
■自治会館等建築補助金	2,559千円

■自治会館運営補助金	3,527千円
■小中学生国内交流研修事業	1,657千円
■国際交流情報提供事業	5,659千円
■江別国際センター施設管理費等補助金	3,352千円
■江別市都市提携委員会補助金	500千円
■中学生国際交流事業	2,668千円

透明性が高く、効率的で公平な市政運営を行い、着実に計画を推進します

えべつシティプロモーション事業 4,923 千円

江別市の認知度とイメージを高めるための取組を総合的・戦略的に実施するため、市民と行政が一体となったプロモーションを実施します。

- ◆ 江別シティプロモート推進協議会の運営
- ◆ **拡大** 「食」を核にしたプロモーション活動
- ◆ **拡大** まち歩きマッピングイベント
- ◆ **拡大** 子育てママ向け江別PRセミナー



SNSを使ったハッシュタグキャンペーンPR画像

ウェルカム江別事業 8,581 千円

交通の利便性や数多くの公園などの快適な住環境、充実した教育体制、特色ある産業など、江別市の魅力子育て世代にPRし、転入者の増加を目指します。

- ◆ 転入促進パンフレットの作成
- ◆ 大学生による江別プロモーション動画の作成支援
- ◆ 大学が活用するプロジェクターの購入支援

大学生転入・住民登録推進事業 193 千円

市内4大学の新生入学生や在校生に対して、江別市内への転入や適正な住民登録を促します。

- ◆ 入学生、在校生に対する住民登録制度周知パンフレットの作成、配布



えべつタウンマップ、転入促進パンフレット



大学生による動画作成風景

ふるさと納税普及促進事業 27,829 千円

ふるさと納税制度の普及・促進を図るとともに、江別市及び江別産商品のPRのため、ふるさと納税をしてくれた方(寄附者)に対し江別の特産品を贈呈します。

- ◆ ふるさと納税者(寄附者)への特産品贈呈
- ◆ ふるさと納税サイト(ふるさとチョイス)の活用
- ◆ **新規** 高額寄附(5万円以上)への特産品贈呈区分の新設



ふるさと納税「江別市特産品カタログ」

その他主要事業 (政策09・政策の総合推進)

■住民情報システム高度化事業 (基幹系システム運用)	154,257千円
■市税電話催告等委託事業	8,126千円
■個人番号カード発行関連経費	17,328千円
■職員研修事業	8,640千円
■ネットワーク網整備・保守事業	63,847千円

■ホームページ運営事業	713千円
■広報えべつ発行事業	13,902千円
■男女共同参画啓発事業	976千円
■庁舎維持管理経費	86,581千円
■平和のつどい開催経費	737千円
■第6次総合計画中間改訂事業	3,904千円

国民健康保険特別会計

15,318,000 千円

江別市国民健康保険の被保険者に対して、疾病、負傷、出産又は死亡に関する保険給付や健康の保持増進のために必要な事業を行います。

- ◆ 保険給付費の減少等により、前年比0.6%減少します。
- ◆ 国保税の軽減や健診事業等のため一般会計から1,029,829千円の繰り入れを受けます。
- ◆ 特定健診の受診促進等に積極的に取り組んだ自治会に対し助成金を交付します。

後期高齢者医療特別会計

1,581,000 千円

主に75歳以上の高齢者の方が加入する後期高齢者医療保険制度について、保険料の管理や、申請受付等の各種事務を行う会計です。

- ◆ 被保険者が納付する保険料 1,216,654千円
- ◆ 低所得者の保険料軽減に対する公費負担 317,328千円
- ◆ その他事務費など 47,018千円

介護保険特別会計

9,556,000 千円

第6期介護保険事業計画に基づき、高齢化による介護を必要とする方の増加を見据えて、計画的に事業を進めていきます。

- ◆ 要介護者・要支援者の増加により前年比5.9%増加します。
- ◆ 介護予防の取り組み、地域包括支援センターの運営など地域支援事業を実施します。

基本財産基金運用特別会計

347,000 千円

江別市有林処分金をもとにした市の財政に寄与するための基本財産基金について、その運用の経理を明確にするための会計です。

- ◆ 基金で保有している土地の管理経費
- ◆ 市民体育館のバスケットゴール更新整備など市の投資事業等に対する債権運用
- ◆ 土地・現金の運用益の基金への繰り出し

公営企業会計

18,414,768千円 (前年比△151,838千円、△0.8%)

水道事業会計

3,678,636 千円

- ◆ 水道事業では、災害に強く安定した給水を行うため、基幹管路の耐震化と老朽配水管の布設替等による管網整備のほか、上江別浄水場の設備更新等を実施します。
- ◆ 災害時の応急給水対策として、新たに緊急貯水槽を1基設置します。

下水道事業会計

6,044,313 千円

- ◆ 下水道事業では、安全で快適な生活環境を確保するため、重要度や緊急度を考慮した長寿命化計画に基づき、老朽化した下水道施設の改築・更新を実施します。
- ◆ 災害に強い下水道とするため、下水道施設の耐震診断調査を実施します。

病院事業会計

8,691,819 千円

- ◆ 地域医療の充実に向けて、総合内科医を中心に医師をはじめとする医療従事者の確保・養成に努めるとともに、診療科間の連携強化により、質の高い医療を提供します。
- ◆ 包括医療費支払い制度(DPC)と地域包括ケア病棟を相互に連携させ、効果的な運用を進めることで、収益性の向上を目指します。
- ◆ 近隣町村等への診療支援を継続し、広域的な地域医療の確保に努めます。
- ◆ 健康都市の実現に向けて、各種検診及び在宅診療の充実を進めます。
- ◆ 病院運営について積極的なPRを行い、市立病院の市民への周知、さらなる理解の浸透を図ります。



江別市立病院



江別市水道庁舎

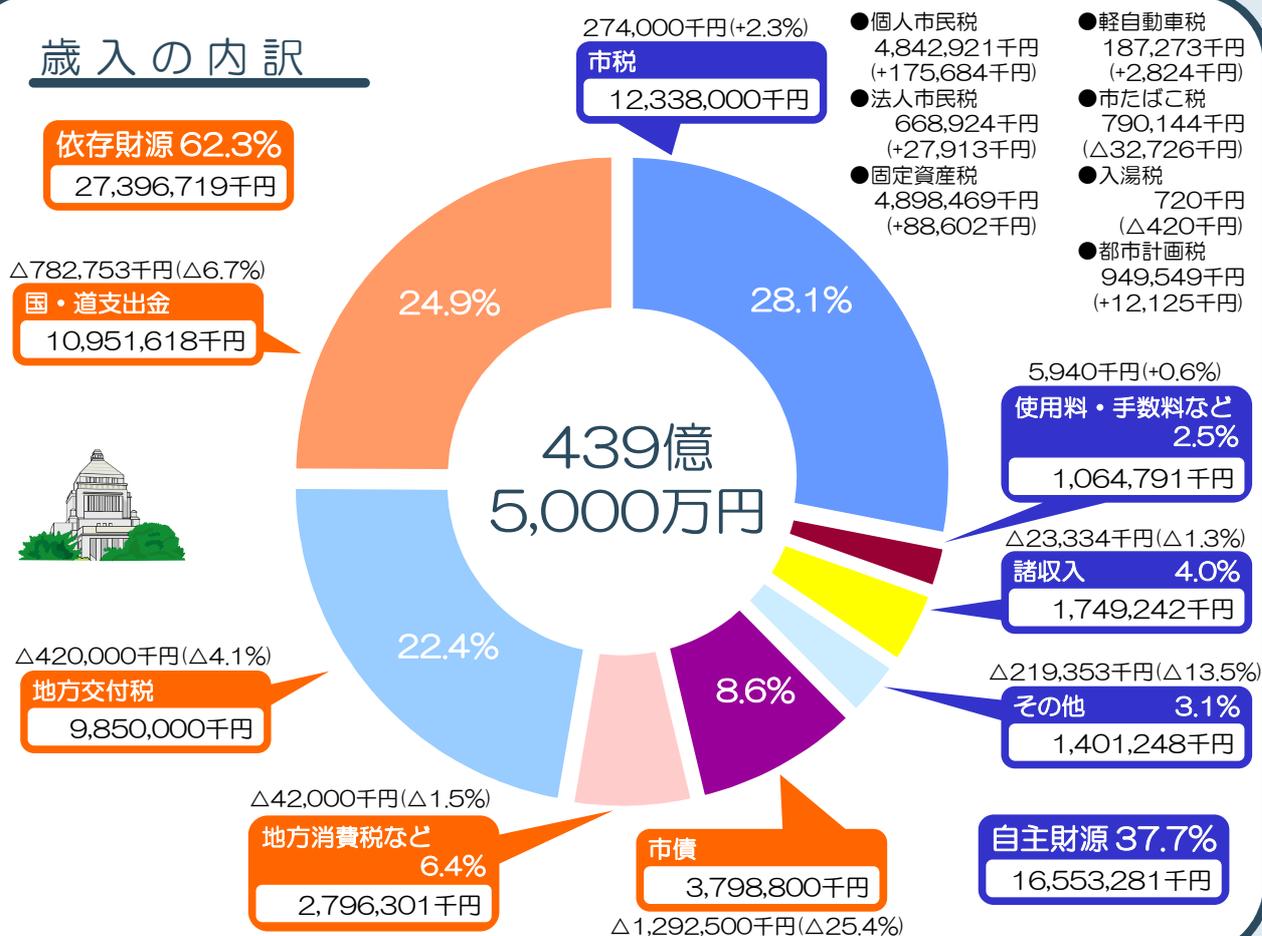


市立病院エントランスホール

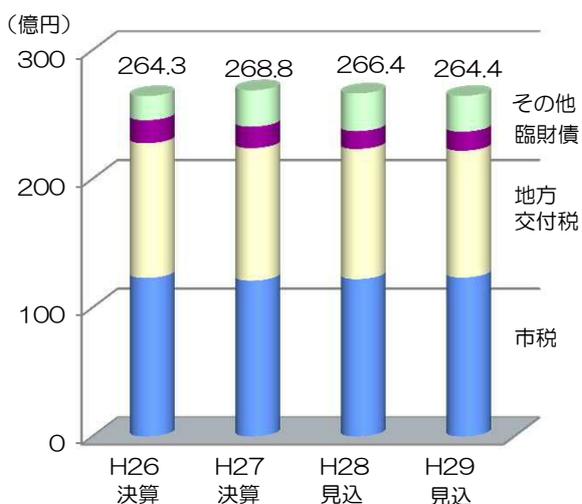


小児科診察室

歳入の内訳

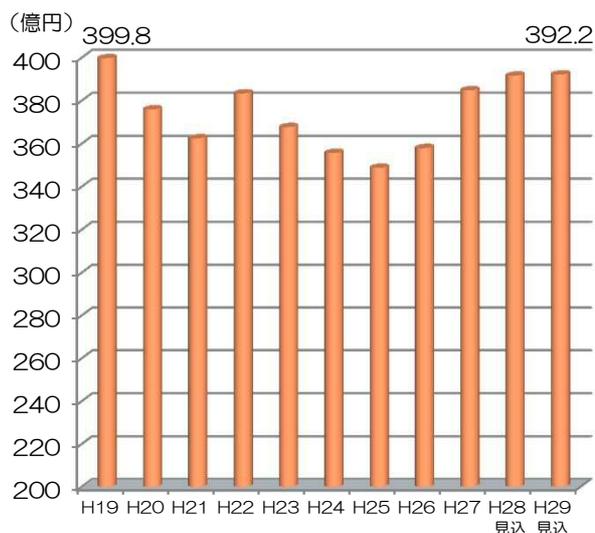


一般財源総額の状況



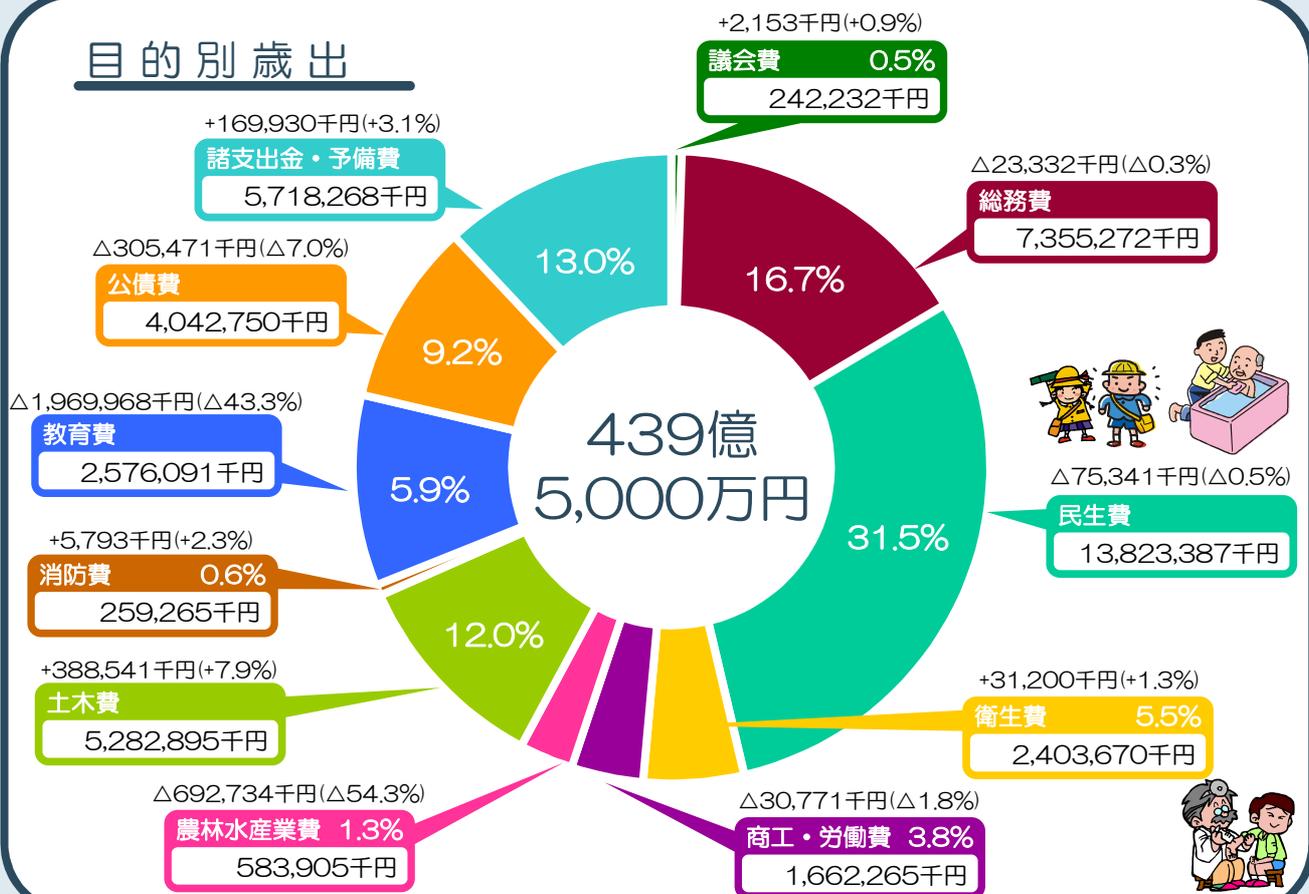
市税、地方交付税、臨時財政対策債及びその他（譲与税・交付金）を合算した一般財源総額は、約260億円台で推移しています。

市債残高の推移



市債の残高は平成25年度末には349億円まで減少しましたが、平成26年度以降は学校耐震化、市営住宅の建替えなどにより増加しています。

目的別歳出



性質別歳出

